



うちのイチ押し!

第2回

# 大阪市将棋大会を開催します!

大阪市教育委員会では、児童・生徒が将棋を通して礼儀作法を身につけ、思考力や集中力、決断力、洞察力の養成を図ることや、小学生から成人までの世代間の交流に寄与することを目的として、大阪市将棋大会を開催します。

**【開催日時】** 9月23日(金・祝) 12時受付開始 12時30分開会

**【開催場所】** 大阪市立北区民センター(〒530-8401大阪市北区扇町2-1-27)

最寄り駅: Osaka Metro堺筋線「扇町」駅 2号-B出口北へ3分

JR環状線「天満」駅 西へ3分



### 【募集期間】

令和4年7月1日(金)～8月31日(水)

### 【参加資格】

大阪市内在住・在学・在勤の小学生から大人まで

### 【参加費】

小学生・中学生 500円 高校生以上 1,000円

### 【定員】

160名(下記5クラス各32名)(応募多数の場合抽選)

- Aクラス(二段以上/小学生から大人)
- Bクラス(初段～4級/小学生から大人)
- Cクラス(5級～10級/小・中学生)
- Dクラス(初心者親睦クラス/小学5年生以上中学生以下)
- Eクラス(初心者親睦クラス/小学1年生以上小学4年生以下)

### 【競技方法】

クラスごとの対局、

- 予選: A・B・Cクラスは2局もしくは3局対戦(2勝通過)  
D・Eクラスは5局制(3勝以上通過)
- 本戦: トーナメント戦

すべて平手戦。持ち時間は25分切れ負け。(その他、日本将棋連盟対局規定に準ずる)

### 【表彰など】

- 各クラスにおいて、優勝者から3位まで表彰
- 優勝者及び準優勝者には日本将棋連盟より免状又は級位認定状の贈呈
- 参加者全員に記念品を配布

### 【申し込み方法】

公益社団法人日本将棋連盟関西本部のインフォメーションページよりお申し込みください

**URL** <https://www.kansai-shogi.info/>(関西将棋会館:ホーム)

※インターネットによる申し込みのみとなります

### 【問い合わせ先】

〒553-0003 大阪市福島区福島6-3-11

公益社団法人日本将棋連盟関西本部普及推進部

**Eメール** [kansai-taikai@shogi.or.jp](mailto:kansai-taikai@shogi.or.jp)

### 【主催】

大阪市教育委員会



関西将棋会館のHP

なむらどうせんじょせんきょあと

## 名村造船所船渠跡—近代化に貢献した中堅造船所—

海に囲まれた日本ならきっと造船業が盛んになるだろうと見込んだのは、幕末に来日したイギリス人、E. C. キルビー。そのキルビー商会で働いていたE. H. ハンターは安治川河口に大阪鉄工所(後の日立造船)を明治14(1881)年に開業しました。明治29(1896)年に政府の出した造船奨励法もあって、安治川や木津川筋では造船所が次々に誕生しました。

その一つ名村造船所も、名村源之助(1878-1968)により明治44(1911)年に安治川右岸の北安治川通一丁目に創業しました。源之助は26歳の若さで大阪鉄工所の職長を務める手腕の持ち主でした。大正2(1913)年には、木津川と支流の三軒家川にはさまれた難波島に工場を新設、そして昭和6(1931)年、木津川河口左岸の北加賀屋に船渠(ドック)をもっていた大阪窯業株式会社から、第一次大戦中に建造された長さ107m、幅14.8m、深さ4.6mの木造船渠(第1号船渠)を購入して第2工場としました。後にこの木津川筋には川筋三社と呼ばれた佐野安・藤永田・名村の各造船所が軒を連ね繁栄しました。とはいえ中堅造船所の経営の実態はなま易しいものでなかったと語り継がれています。

昭和9(1934)年の室戸台風によって名村造船所は機械工場が全壊し船渠周壁が崩壊するなどの被害を受けましたが、昭和19(1944)年までに船渠1基、船台2基を新たに拡充しました。戦後、空襲による被害もなかったため漁船の建造などから再興が図られましたが、第2次オイルショックや海運業界の不振の波を受け、昭和54(1979)年に竣工した海上保安庁の巡視船「くまの」が大阪工場の最終船となりました。

名村造船所大阪工場跡地(住之江区北加賀屋4-1-55 クリエイティブセンター大阪)は近代化産業遺産として船渠跡が今も残っています。定期的に見学ツアーも開催されていますので「名村造船所跡」で検索してみてください。  
(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



クリエイティブセンター大阪にある顕彰パネル



おおさか

## 歴史探訪

169

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。